

FPG

Financial Products Group

2021年9月期 第3四半期連結決算説明資料 (2020年10月～2021年6月)

株式会社 F P G

(東証第一部・コード : 7148)

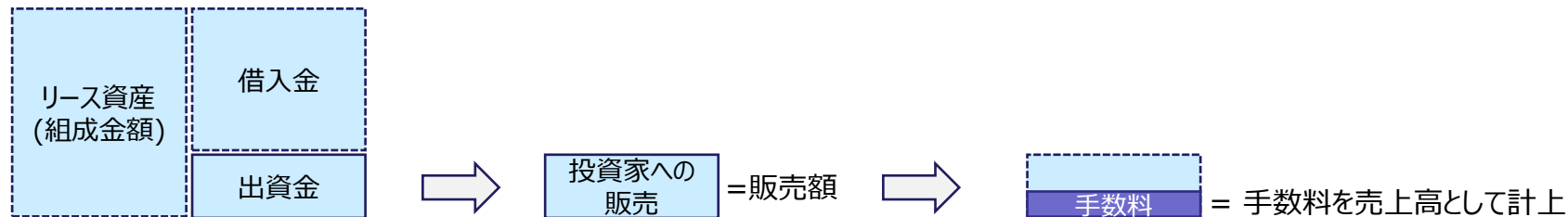


本資料中の事業区分と売上高について

- 各事業区分と売上高
本決算説明資料では、当社の事業を以下4つの区分に分けて説明しています。

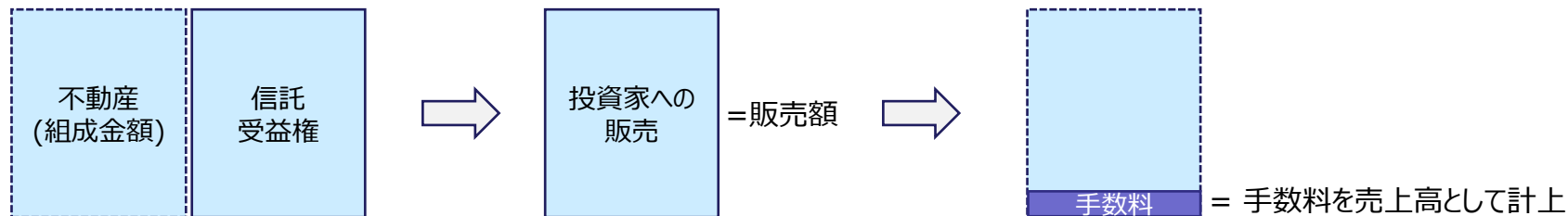
① リースファンド事業

航空機・船舶・コンテナを対象とした、オペレーティング・リース事業(リースファンド事業)の組成・管理および投資家への匿名組合出資持分・任意組合出資持分・信託受益権の販売を行っています。売上高は、オペレーティング・リース事業の組成におけるアレンジメント・フィー、組合出資持分を投資家に販売する際に受け取る手数料等を計上しております。なお、投資家への組合出資持分・信託受益権の販売額は売上高として計上しておりません。



② 不動産ファンド事業

株式会社FPG信託の信託機能を活用した不動産小口化商品の組成・管理および投資家への販売を行っています。売上高は、投資家への不動産小口化商品を販売する際に受け取る手数料を計上しております。ただし、開発案件については、投資家への販売額を売上高として計上しております。



③ FinTech事業

当社グループが保有する様々な金融・不動産ライセンスとデジタル技術を組み合わせた新たな金融商品・サービスの提供に取り組んでいます。2021年4月にはFinTech事業の第1弾となる「給与前払いサービス『Q給』」の提供を開始しました。上記以外にはITシステムの受託開発、ネットワークインフラ構築等を行っています。売上高は、システム開発、ネットワークインフラ構築に関わる業務受託料等を計上しております。

④ その他事業

保険事業、M&A事業、プライベートエクイティ事業および航空事業等を総称して、「その他事業」としてしています。売上高は、保険事業やM&A事業における手数料、プライベートエクイティ事業における譲渡収益、航空事業における輸送や航空撮影等の対価を計上しております。

2021年9月期 第3四半期(累計)

- 上期に続き、第3四半期(4月-6月)もリースファンド事業および不動産ファンド事業が牽引し、売上高、利益ともに前年同期を大幅に上回って着地
- リースファンド事業は、出資金販売が好調に推移し、売上高は前年同期比大幅増
- 不動産ファンド事業は、組成、販売共に想定通りの進捗。不動産小口化商品の売上高としては過去最高を更新

今後の方針・通期見通し

- 第3四半期までの進捗を踏まえ、2021年9月期通期業績予想を上方修正
- 通期業績予想の修正に伴い、2021年9月期配当予想を修正
 - 期初予想：1株当たり16.5円（配当性向 50.3%）
 - 修正予想：1株当たり18.5円（配当性向 51.0%）
- 来期に向けて、リースファンド事業および不動産ファンド事業での組成と、FinTech事業での新サービス開発に注力

2021年9月期 第3四半期(累計)実績

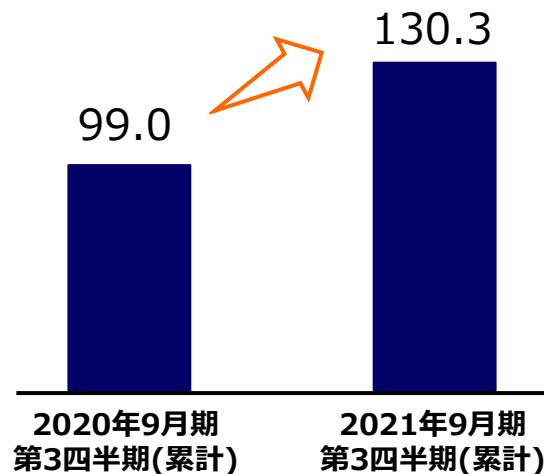
- 売上高、利益ともに前年同期を大幅に上回って着地。採算性改善が継続し、売上総利益率はコロナ禍以前の水準に回復。第3四半期までの進捗を踏まえ、通期業績予想を上方修正
- 第4四半期(7月-9月)は、リースファンド事業での商品在庫減少に伴う出資金販売額減少により若干の赤字となる見通し

	2020年9月期 第3四半期(累計)	2021年9月期 第3四半期(累計)	前年同期比 ()内は増減率	2021年9月期 通期予想 (21/7/30公表)	期初予想比 ()内は増減率	進捗率
売上高	99.0	130.3	+31.3 (+31.6%)	147.0	+8.4 (+6.0%)	88.7%
売上総利益	73.4	104.5	+31.1 (+42.3%)	n/a	-	-
販売費・一般管理費	46.1	48.4	+2.3 (+5.2%)	n/a	-	-
営業利益	27.3	56.0	+28.7 (+105.0%)	53.0	+7.6 (+16.6%)	105.7%
経常利益	26.7	54.3	+27.6 (+103.2%)	50.0	+10.0 (+25.0%)	108.6%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	17.9	34.2	+16.3 (+90.4%)	31.0	+3.0 (+10.7%)	110.4%
売上高総利益率	74.1%	80.2%	+6.1pt	n/a	-	-
売上高営業利益率	27.6%	43.0%	+15.4pt	36.1%	+3.3pt	-
売上高当期純利益率 [※]	18.1%	26.2%	+8.1pt	21.1%	+0.9pt	-

(億円)

前年同期との比較

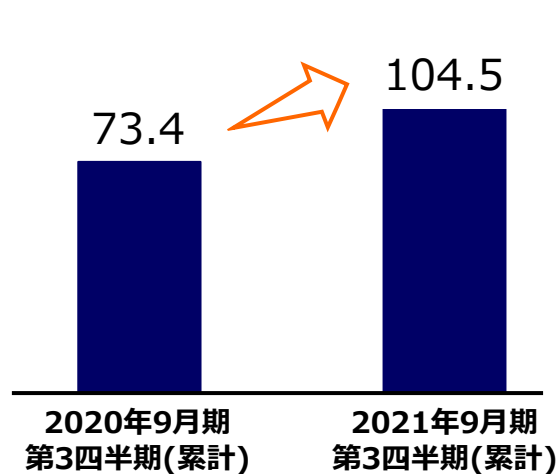
売上高 (億円)



売上高増
+31.3

・リースファンド事業、
不動産ファンド事業が牽引

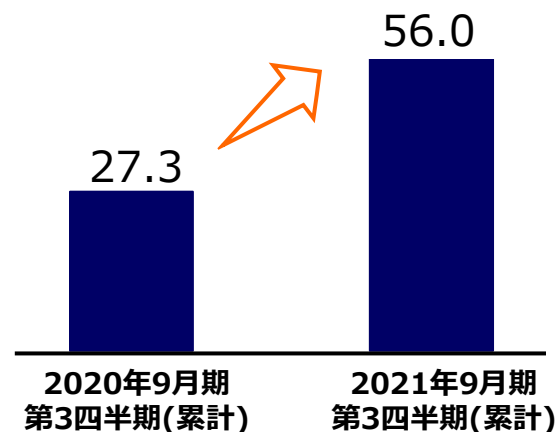
売上総利益 (億円)



売上総利益増
+31.1

・増収による増益に加え、
売上総利益率の改善により
増益
※増収効果 約26億円
売上総利益率改善効果
約5億円

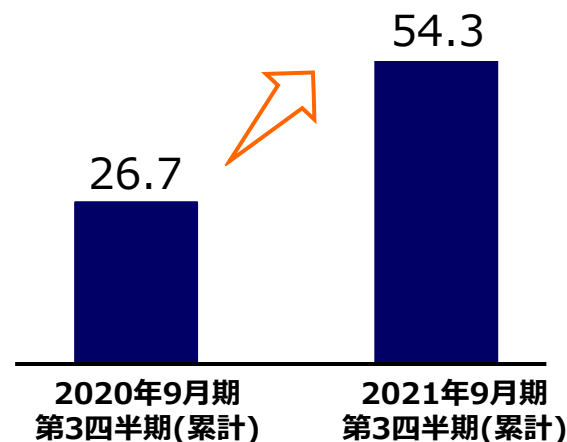
営業利益 (億円)



営業利益増
+28.7

・販売管理費の増加を
吸収し増益

経常利益 (億円)



経常利益増
+27.6

・Air Mauritius関連の
正味費用(5.0億円)を
第1四半期に計上も、
売上総利益の増加により
増益

■ 第3四半期(4月-6月)の概況

- ・ 売上高、利益ともに増加基調を維持
- ・ 前年の第3四半期は、コロナ禍の影響が最も大きかったため、増収・増益幅も拡大

	2021年9月期 第1四半期		2021年9月期 第2四半期		2021年9月期 第3四半期	
		前年同期比 ()内は増減率		前年同期比 ()内は増減率		前年同期比 ()内は増減率
売上高	38.2	+1.3 (+3.4%)	48.3	+2.4 (+5.1%)	43.7	+27.7 (+172.0%)
売上総利益	26.7	▲3.6 (▲12.0%)	41.7	+10.2 (+32.2%)	36.0	+24.6 (+213.3%)
販売費・一般管理費	16.8	+1.5 (+9.8%)	15.4	+0.2 (+1.4%)	16.1	+0.7 (+4.4%)
営業利益	9.8	▲5.1 (▲34.3%)	26.2	+9.9 (+61.1%)	19.8	+23.7 -
経常利益	6.9	▲8.8 (▲56.1%)	25.3	+9.0 (+54.8%)	22.0	+27.4 -
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2.7	▲7.9 (▲74.4%)	18.9	+7.5 (+65.3%)	12.5	+16.6 -
売上高総利益率	69.9%	▲12.2pt	86.4%	+17.7pt	82.3%	+10.9pt
売上高営業利益率	25.7%	▲14.7pt	54.4%	+18.9pt	45.4%	-
売上高当期純利益率 [※]	7.1%	▲21.7pt	39.2%	+14.3pt	28.6%	-

※当期純利益は、親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益を示す

- リースファンド事業は、回復基調が継続し、前年同期を上回って着地
- 不動産ファンド事業は、増収基調が継続
- 第3四半期までの進捗を踏まえ、各事業の通期予想を修正
 - ・ FinTech事業は、新サービス開発に注力するため、リソース配分を見直したことから、期初予想よりも下回る見込み
 - ・ その他事業は、保険事業が期初予想よりも伸長

(億円)

	2020年9月期 第3四半期(累計)	2021年9月期 第3四半期(累計)	前年同期比 ()内は増減率	2021年9月期 通期予想 (21/7/30公表)	期初予想比 ()内は増減率	進捗率
リースファンド事業	86.6	104.3	+17.7 (+20.5%)	113.1	+7.7 (+7.3%)	92.3%
不動産ファンド事業	6.4	17.4	+11.0 (+171.7%)	22.0	+2.0 (+10.0%)	79.4%
FinTech事業	1.2	3.2	+2.0 (+162.0%)	4.3	▲2.2 (▲33.8%)	75.5%
その他事業	4.7	5.2	+0.5 (+10.9%)	7.6	+0.9 (+13.4%)	69.2%
合計	99.0	130.3	+31.3 (+31.6%)	147.0	+8.4 (+6.0%)	88.7%

リースファンド事業（１）概況

- 出資金販売額は、第3四半期(4月-6月)も伸長し、前年同期および期初の通期予想(830億円)を上回って着地。通期予想を970億円に上方修正
- 組成は、第3四半期までの進捗を踏まえ、通期予想を下方修正

(億円)

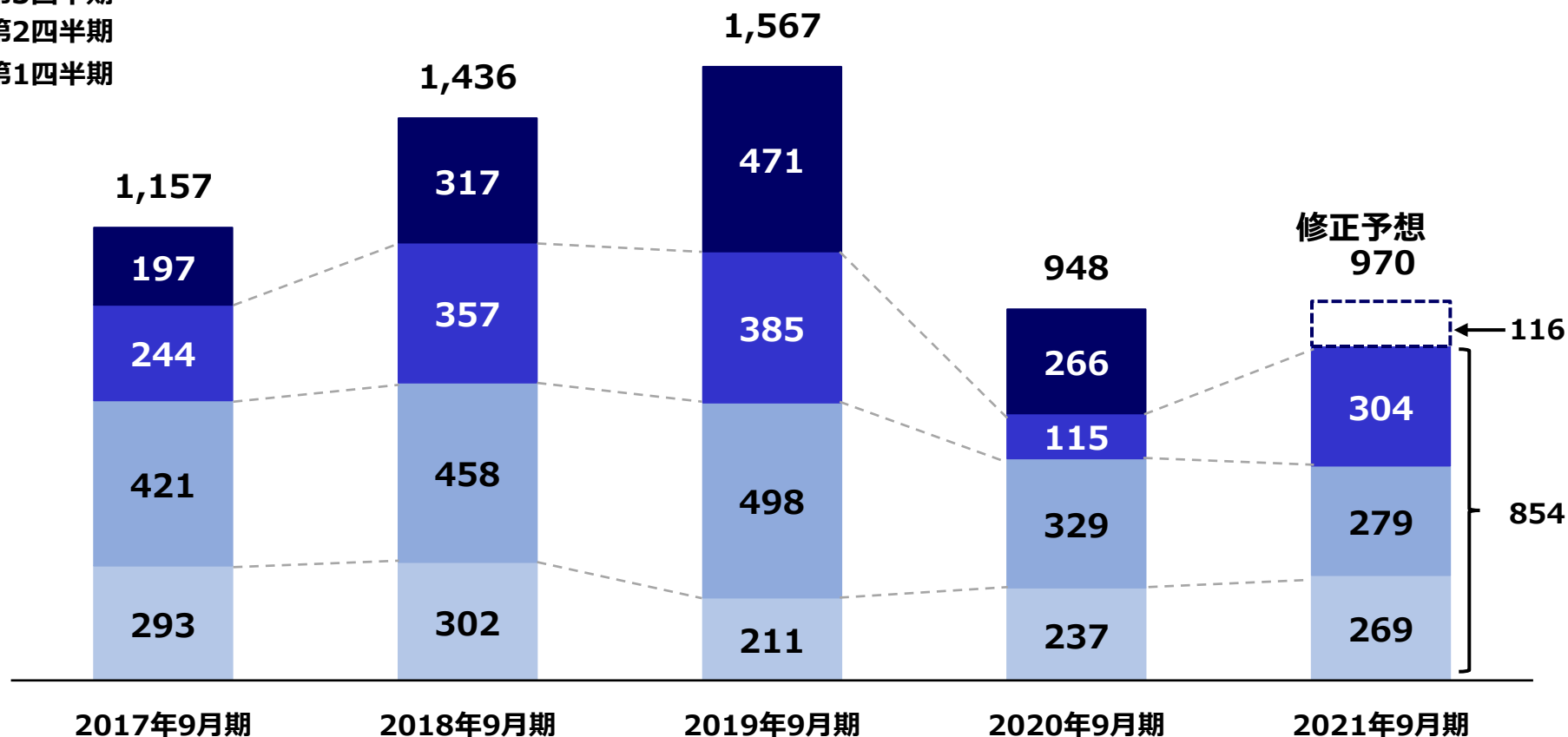
	2020年9月期 第3四半期(累計)		2021年9月期 第3四半期(累計)		前年同期比 増減率	2021年9月期 通期予想 (21/7/30公表)	進捗率
	額	構成比	額	構成比			
売上高	86.6	-	104.3	-	+20.5%	113.1	92.3%
出資金販売額	681.4	100.0%	854.0	100.0%	+25.3%	970.0	88.0%
航空機	356.4	52.3%	449.9	52.7%	+26.2%	n/a	-
船舶	229.4	33.7%	253.1	29.6%	+10.3%	n/a	-
コンテナ	95.5	14.0%	151.0	17.7%	+58.0%	n/a	-
商品在庫	910.4	-	425.7	-	▲53.2%	n/a	-
組成金額	1,424.9	-	1,368.9	-	▲3.9%	1,500.0	91.3%

リースファンド事業（2）出資金販売額

- 上期に続き、第3四半期(4月-6月)も出資金販売は伸長
- 第4四半期(7月-9月)の出資金販売額は、商品在庫の減少により、前四半期と比べて減少する見込み

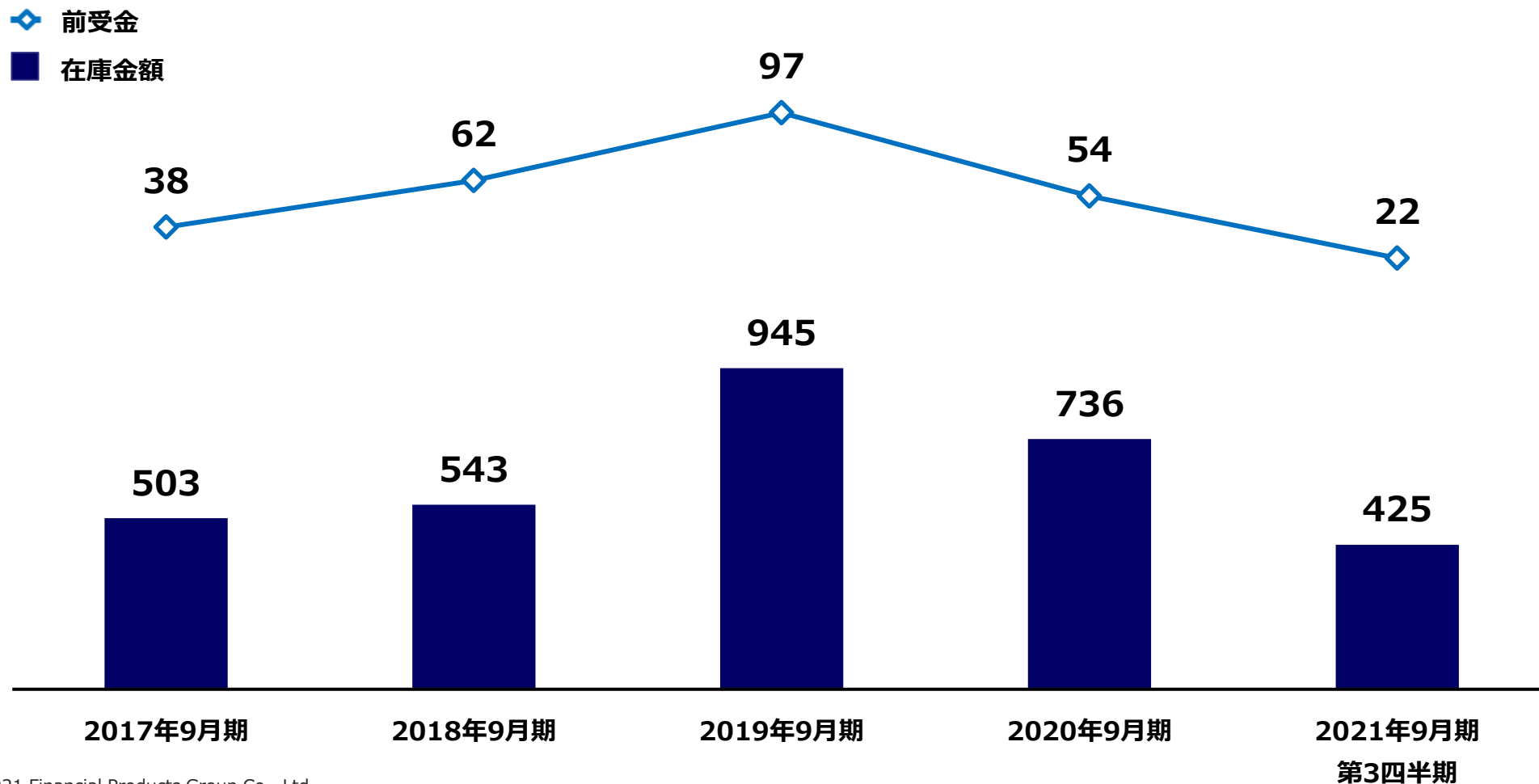
- 第4四半期
- 第3四半期
- 第2四半期
- 第1四半期

四半期別出資金販売額の推移（億円）



■ 好調な販売状況を背景に在庫が減少

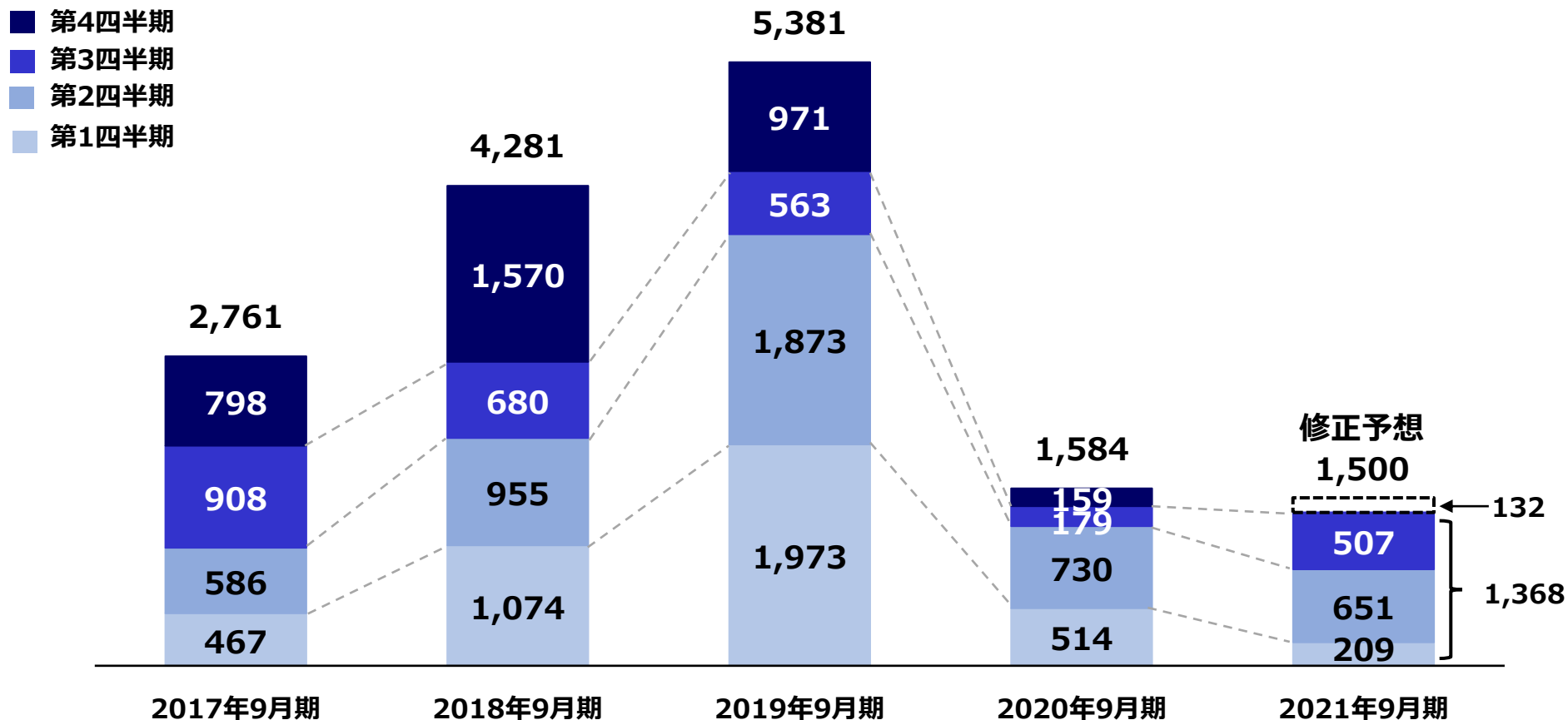
在庫金額および前受金の推移（億円）



リースファンド事業（４） 四半期別組成金額

- 当社が培ってきた航空会社・海運会社とのリレーションを活かし、第3四半期も着実に組成を積み上げるも、通期予想は、2,300億円から1,500億円に修正

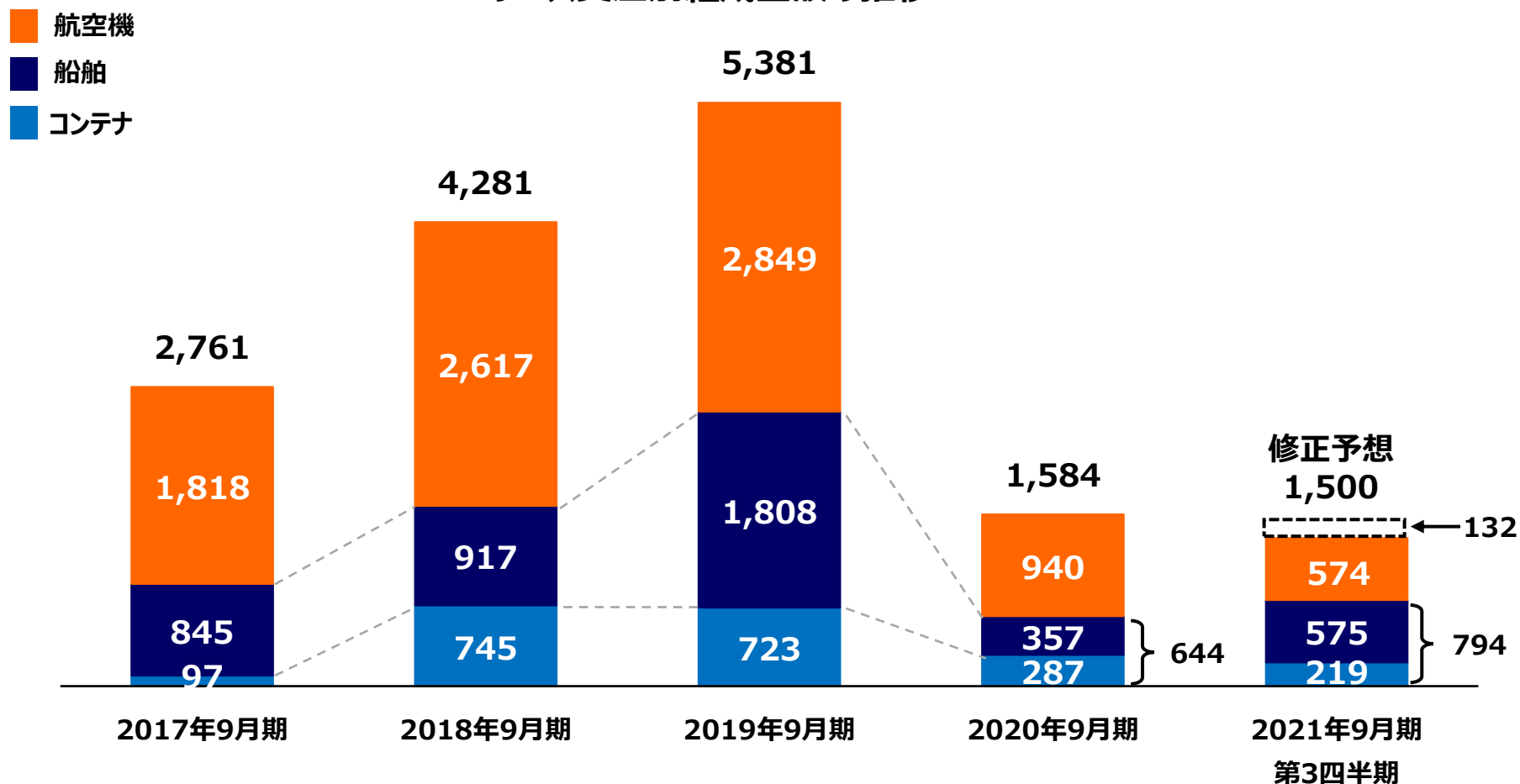
四半期別組成金額の推移（億円）



リースファンド事業（５）リース資産別組成金額

- 船舶・コンテナの組成は積極的に行い、航空機は案件を厳選する方針を継続
- 第3四半期(4月-6月)は、コンテナの大型案件を組成
船舶とコンテナ合計では、第3四半期累計で794億円となり、前年比150億円の増加

リース資産別組成金額の推移（億円）



■ 不動産小口化商品は、販売高・売上高（開発案件を除く）がともに過去最高を更新

(億円)

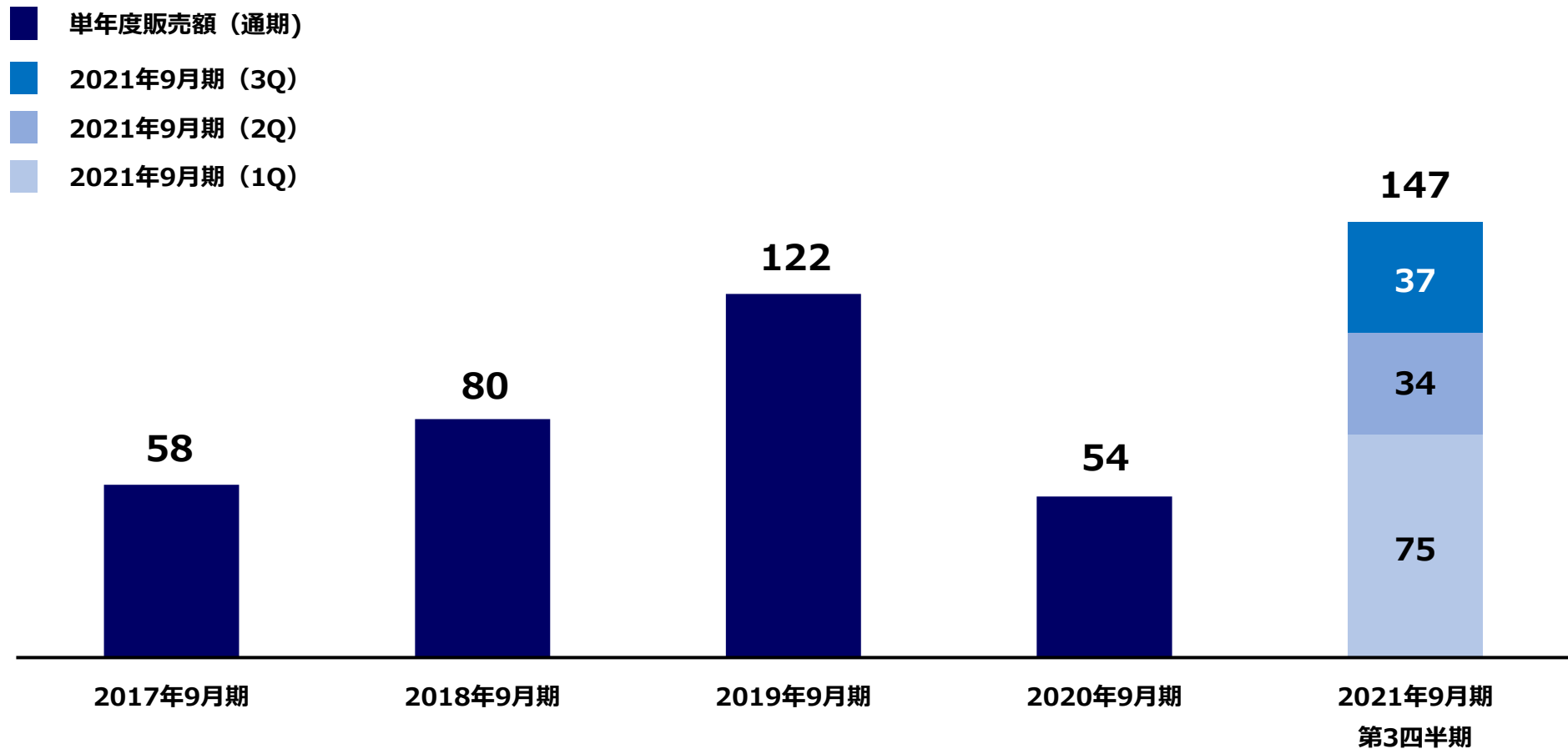
	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2020年9月期 第3四半期(累計)	2021年9月期 第3四半期(累計)	前年同期比
不動産ファンド事業 売上高	5.5	6.9	42.5	6.8	6.4	17.4	+171.7%
不動産小口化商品	5.5	6.9	12.7	6.8	6.4	17.4	+171.7%
開発案件	-	-	29.8	-	-	-	-
不動産小口化商品							
販売額	58.0	80.5	122.4	54.1	54.1	147.5	+172.3%
在庫	97.5	53.2 ※1	33.7	22.1	0.1	41.6 ※1	- ※2
組成金額	137.9	31.5	102.5	40.8	16.4	123.1	+650.8%

※1：開発案件の在庫除く

※2：1,000%を超えるため非表示

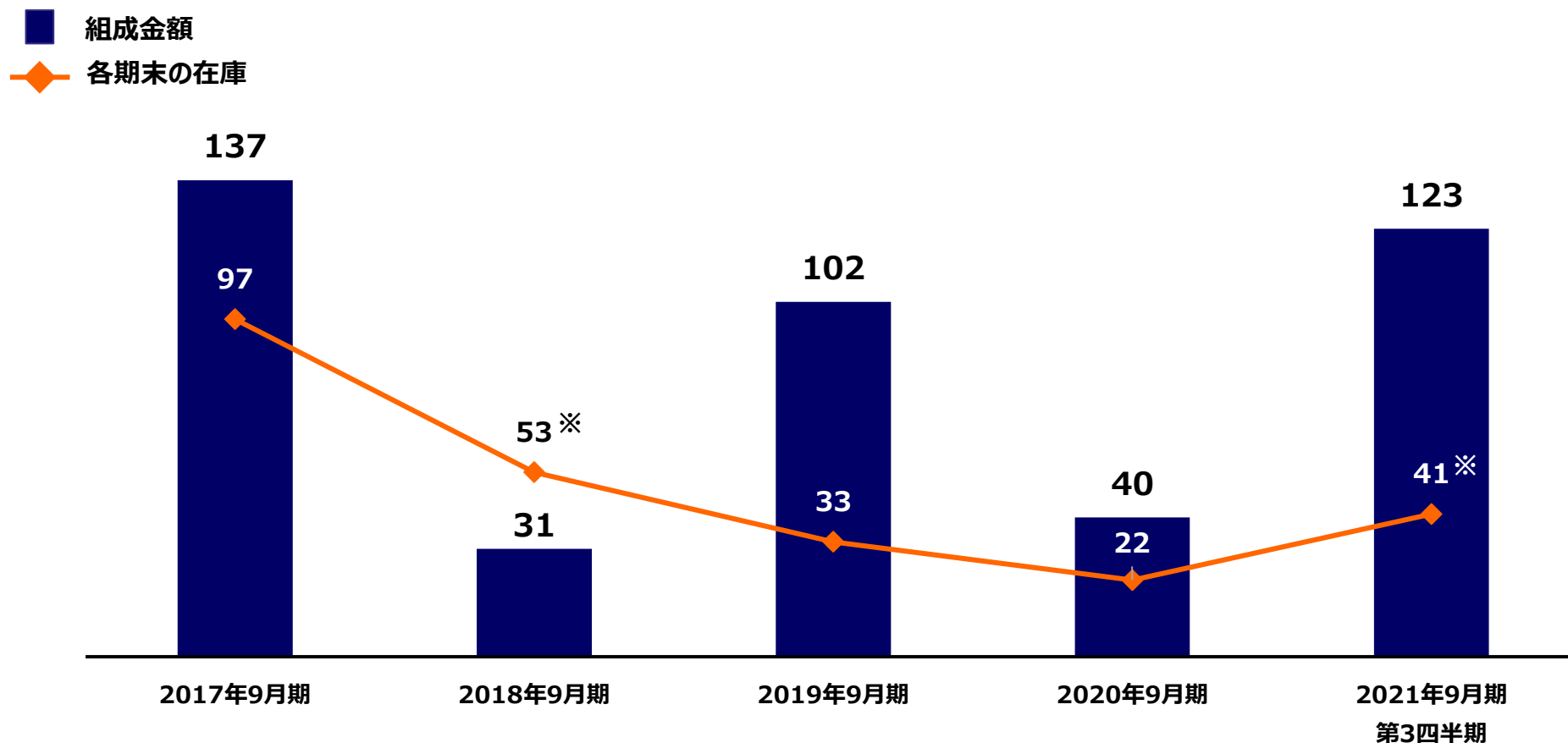
- 販売チャネルの拡大や顧客ニーズに合った商品性により、販売好調が継続

不動産小口化商品販売額（億円）



- 第4四半期(7月-9月)も積極的に組成を行い、不動産ファンド事業の更なる拡大に向けて在庫を積み上げる方針

不動産小口化商品の組成金額と在庫の推移（億円）



※開発案件の在庫を除く

- FinTech事業の第1弾となる「給与前払いサービス『Q給』」を4月20日にリリース
- 導入企業の外国人従業員様に安心してサービスをご利用いただくため、従業員様専用サイトの多言語対応（7言語）を実施

『Q給』のご利用イメージ



💡 企業にとって … 福利厚生サービスの充実、定着率・応募人数の上昇に期待

💡 従業員にとって… 急な資金ニーズに対応でき、多様なライフスタイルを実現

従業員様専用サイトの多言語対応

英語、中国語(簡体字・繁体字)、韓国語、ベトナム語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語に対応

ご利用画面(一例)

English interface for the Q-giving application. The form is titled 'Advance Payment Request' and shows the date as 06/28/2021 and the application deadline as 12 days. The amount requested for advance payment is 50,000 JPY, and the user has entered 3,000 JPY. There is an 'Apply' button and options to 'Change Information' or view 'Application History'.

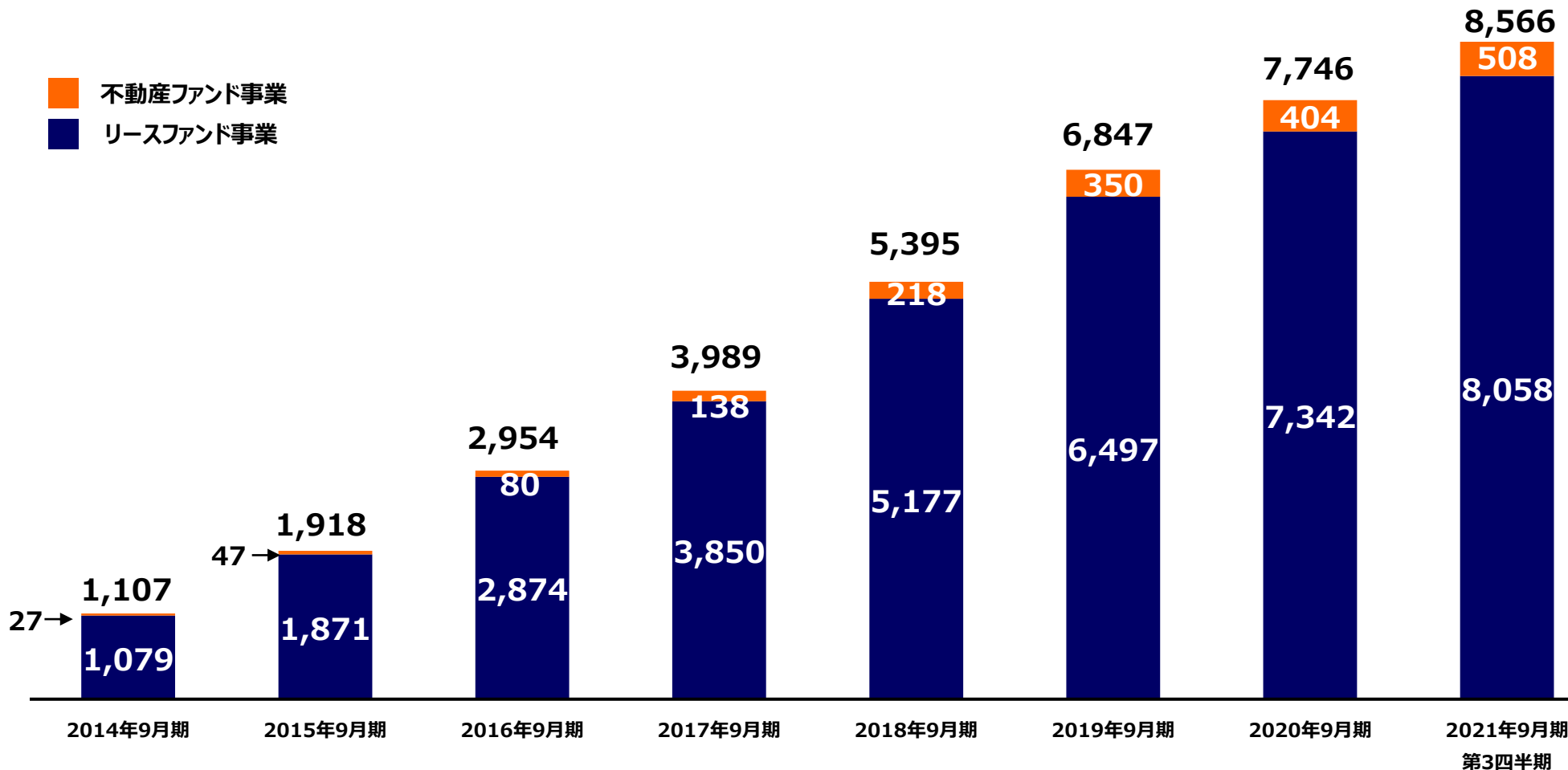
英語

Chinese (Simplified) interface for the Q-giving application. The form is titled '预付款申请' and shows the date as 2021/06/28 and the application deadline as 12 days. The amount requested for advance payment is 50,000 JPY, and the user has entered 3,000 JPY. There is an 'Apply' button and options to '更改信息' or view '申请历史记录'.

中国語(簡体字)

未償還残高※の推移

- 未償還残高1兆円の目標に対し、2021年6月末時点での未償還残高は8,566億円
- 償還を迎える案件での再投資需要の取り込みに注力



※ 未償還残高とは、リースファンド事業において投資家から出資を受けた金額および不動産ファンド事業において不動産小口化商品を投資家へ販売した金額の合計額から、既償還額を除いたもの

(億円)

連結損益計算書の概要

(億円)

	2020年9月期 第3四半期(累計)	2021年9月期 第3四半期(累計)	前年同期比 増減率
売上高	99.0	130.3	+31.6%
① 売上原価	25.6	25.8	+0.8%
売上総利益	73.4	104.5	+42.3%
販売費・一般管理費	46.1	48.4	+5.2%
営業利益	27.3	56.0	+105.0%
② 営業外収益	17.7	21.7	+22.3%
③ 営業外費用	18.3	23.4	+27.7%
経常利益	26.7	54.3	+103.2%
税引前四半期純利益	26.6	48.7	+83.3%
法人税等合計	8.3	14.7	+76.3%
親会社株主に帰属する四半期純利益	17.9	34.2	+90.4%

① 売上原価
顧客紹介者への支払手数料、リースファンド事業の案件組成コスト、Air Mauritius関連の評価損を含む

② 営業外収益
一時的に立替えた出資金を投資家に販売する際に徴収する立替利息(受取利息として計上)、金銭の信託運用益等を含む

③ 営業外費用
資金調達に伴う支払利息、JOL案件に伴うドル調達の支払利息、Air Mauritiusの関連費用を含む

連結貸借対照表の概要

(億円)

資産	2020年9月期	2021年9月期 第3四半期末	前期末比
流動資産	1,264.6	991.0	▲273.6
現金預金	271.5	299.8	+28.3
① 商品出資金	396.1	125.0	▲271.1
② 金銭の信託(組成用航空機)	340.3	300.7	▲39.6
③ 販売用航空機	146.6	-	▲146.6
④ 貯蔵品	0.1	145.2	+145.1
⑤ 組成用不動産	22.1	48.4	+26.3
固定資産	63.8	60.3	▲3.5
資産合計	1,328.5	1,051.3	▲277.2
負債・純資産	2020年9月期	2021年9月期 第3四半期末	前期末比
流動負債	832.1	467.3	▲364.8
短期借入金等	728.7	386.1	▲342.6
SPCノンリコースローン(1年以内)	14.0	23.9	+9.9
⑥ 前受金	54.5	22.1	▲32.4
固定負債	221.4	284.2	+62.8
長期借入金等	92.0	155.3	+63.3
SPCノンリコースローン	125.4	123.9	▲1.5
負債合計	1,053.6	751.6	▲302.0
純資産合計	274.8	299.7	+24.9
負債純資産合計	1,328.5	1,051.3	▲277.2

- ① 商品出資金
リースファンド事業において投資家に販売するまで当社グループが一時的に立替えている出資金
- ② 金銭の信託(組成用航空機)
航空機リース案件に係る信託受益権の在庫
- ③ 販売用航空機 および ④ 貯蔵品
Air Mauritiusを賃借人とする、オペレーティング・リース案件の航空機
(2021年9月期第2四半期に、販売用航空機から貯蔵品に振替)
- ⑤ 組成用不動産
不動産小口化商品の在庫
※ 自社開発中の「自由が丘一丁目計画」の不動産(6.8億円)を含む
- ⑥ 前受金
リースファンド事業に係る手数料の前受金を含む

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期	2021年9月期 第3四半期
配当性向	43.0%	49.4%	46.9%	88.6%	51.0% ※1
ROE	45.5%	33.4%	32.3%	3.8%	16.0% ※2
自己資本比率	29.5%	34.5%	26.0%	20.5%	28.3%
経常利益率	65.1%	57.3%	54.1%	13.5%	41.7%

※1：配当性向は、2021年9月期の予想配当性向（2021年7月30日公表）を掲載

※2：ROE = { (親会社株主に帰属する四半期純利益 ÷ 3) × 4 } ÷ 自己資本 (2021年9月期期首・第3四半期末平均) × 100

■ 外部からの評価※1



※1 2021年6月現在

<JPX日経400>

東京証券取引所に上場する約3,700社の中から、資本の効率的活用や投資者を意識した経営観点など、グローバルな投資基準に求められる諸条件を満たした、「投資者にとって投資魅力の高い会社」で構成される株価指数。
F P Gは、2016年から5年連続で採用されている。

<S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数>

日本市場の代表的な株価指数であるTOPIXをユニバースとし、環境情報の開示状況、炭素効率性の水準に着目して構成銘柄のウェイトを決定する指数。

■ 東京証券取引所の新市場区分について

- ・ 2021年7月9日付で、東京証券取引所より、新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果を受領し、当社が、「プライム市場」の上場維持基準に適合していることを確認
- ・ 2021年7月30日開催の取締役会にて、プライム市場を選択することを決議
- ・ 今後、東京証券取引所に対して、新市場区分の選択申請手続きを実施予定

本資料に掲載されている業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、当社が合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、さまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、掲載の見通しとは異なる可能性があります。

【お問い合わせ】

株式会社 F P G 経営企画部

TEL : (03) 5288-5691

E-mail : ir@fpg.jp

URL : <https://www.fpg.jp>